

平成 27 年度第 1 回函館市生活交通協議会会議録

開催日時	平成 27 年 5 月 21 日（木） 10 時 00 分～11 時 30 分	
開催場所	企業局 4 階 大会議室	
議 題	<p>(1) 地域間幹線系統確保維持計画および生活交通路線確保維持計画について</p> <p>(2) 平成 27 年度事業内容について</p> <p>(3) その他</p>	
出席者	<p>協議会委員 木村委員，奥平委員，森委員，工藤（利）委員，横田委員，滝野澤委員， 武下委員，佐々木（香）委員，藤田（美）委員，中山委員，鶴飼委員， 工藤（太）委員，矢吹委員，宿村委員，桜井委員，近藤委員，久保田委員， 畑山委員（函館開発建設部道路計画課道路調査官 坂本氏 代理出席）， 齋藤委員（函館市土木部次長 田畑氏 代理出席）</p> <p style="text-align: right;">（計 19 名）</p> <p>ワーキンググループ委員 金岩委員，岩田委員</p> <p style="text-align: right;">（計 2 名）</p> <p>随行者 函館バス(株) 内沢バス事業部長</p> <p style="text-align: right;">（計 1 名）</p> <p>報道関係 北海道新聞社，函館新聞社，朝日新聞社，日本経済新聞社， 毎日新聞社</p> <p style="text-align: right;">（計 5 社）</p> <p>傍聴者</p> <p style="text-align: right;">（計 1 名）</p>	
欠席者	<p>協議会委員 大橋委員，今井委員，谷口委員，山田委員，藤田（秀）委員</p> <p style="text-align: right;">（計 5 名）</p> <p>ワーキンググループ委員 佐々木（崇）委員，手塚委員</p> <p style="text-align: right;">（計 2 名）</p>	
事務局の出席者の職氏名	企画部計画推進室長 企画部計画推進室政策推進課主査 企画部計画推進室政策推進課主事 企画部計画推進室政策推進課主事	湯浅 隆幸 江良 規生 鶴喰 理沙 品田 朋廣

1 開 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：鶴喰主事】

○人事異動による委員の変更

- ・ 畑山 朗 委員 （北海道開発局函館開発建設部道路計画課長）
（前 阿部 剛 委員 （北海道開発局函館開発建設部道路計画課長））
- ・ 矢吹 眞佐文 委員 （北海道警察函館方面函館中央警察署交通第一課長）
（前 仁杉 芳則 委員 （北海道警察函館方面函館中央警察署交通第一課長））
- ・ 桜井 一成 委員 （北海道旅客鉄道株式会社函館支社企画次長）
（前 橋場 康人 委員 （北海道旅客鉄道株式会社函館支社企画次長））
- ・ 齋藤 章生 委員 （函館市土木部長）
（前 杉本 勉 委員 （函館市土木部長））

2 議 題

【木村会長】

- ・ 議題に入る前に、各交通事業者から公共交通機関を取り巻く状況について、説明をお願いしたい。

【岩田委員】

<平成 26 年度の電車事業の状況について報告>

- ・ 利用実態については、ここ十数年は郊外部への人口移動や少子高齢化の影響等により減少傾向にある。
- ・ 一日乗車券等の主に観光客が利用する乗り放題乗車券の売り上げが下支えしていることに加え、昨今のエコ意識の高まりなどの影響もあり、微減に留まってはいるが、消費税増税分までは取り込みきれていない。
- ・ 平成 26 年度の決算については、最終集計の精査作業中で、具体的にはこれから公表されるが、前年並みではないかと感じている。
- ・ 函館市の中心市街地活性化計画に基づく電停改修を、昨年度の函館駅前続き、五稜郭公園前でも行う予定である。
- ・ 函館アリーナのオープンや新幹線開業等で増加が見込まれる他都市や海外からのお客様に対する取組として、情報発信機能の利便性向上や外国人観光客の利用者に向けた情報発信ツールの連携等、利用しやすい環境づくりにも取組んでいくとともに、旅行代理店等とも連携していきたい。
- ・ 交通事業経営計画に基づいた改良工事として、昨年度は、駒場町変電所と千代台町交差点の改良工事を実施した。
- ・ 本年度は、昨年引き続き継続事業として駒場町変電所の改良工事を実施し、軌道部分では、柏木町と宝来町交差点の改良工事を実施する予定である。
- ・ 来年に迫っている新幹線開業も見据えて、安全の確保、向上はもとより、より魅力ある輸送サービスの提供に努めてまいらる。

【森委員】

＜平成 26 年度のバス事業の状況について報告＞

- ・ 昨年、創業 70 年を迎え、函館山登山バスや定期観光等に地域の方々を招待し、イベントを実施してきた。出前教室も盛んに行っており、今後も地域の公共交通機関としての責任をもって、頑張っていく。
- ・ 昨年の J R 江差線廃線に伴い、江差木古内線の代替バス運行を開始した。開始から 1 年が経過したが、当初予想人員よりも上回り、順調に運行している。
- ・ 昨年の乗合収入の状況は、消費税増税の影響が予想より大きかったが、観光路線バスが好調で、海外からの観光客の利用が売上に貢献している。
- ・ 貸切自動車収入は、運賃改定があり、事業の健全化に向けて進んでいる。
- ・ 管内全域のスクールバスや契約バス等も、安定的に受注している。
- ・ 費用面については、原油価格が上がったり下がったりを繰り返しているもので、安定的な価格で推移することを願っている。
- ・ 交通政策基本法や地域公共交通活性化再生法等を軸に、地域の交通をどうするのかを考える時期にきている。
- ・ これまで、この協議会において、ゾーンバスシステムを中心とした考え方の下に、未来に継続可能な路線の再編成について議論してきたが、今後も引き続きお願いしたい。
- ・ 新幹線開業も控えており、道南地域からのアクセスについてしっかり考えていく。

【横田委員】

＜平成 26 年度のハイヤー・タクシー事業の状況について報告＞

- ・ 消費税増税の影響により、売り上げは厳しかった。
- ・ 新幹線開業に向けて、昨年から定額タクシーのモデル地域割を行っており、来年 3 月の開業までに結論を出したい。
- ・ 今年の 3 月に新幹線についての説明会および勉強会を行った。
- ・ 昨年からはじめた認知症サポーター養成講座については、年内に乗務員全員が受講できるようにしたい。
- ・ 新幹線開業に合わせ、函館駅西口での乗降車を止め、待機場所を適切に利用していく。
- ・ 今年の 10 月から乗務員の登録制度が始まることに伴い、観光等について十分説明できる者を登録することにより、乗務員の資質を高めていく。
- ・ タクシー特別措置法が今年の 2 月から施行され、函館地域は準特定地域に指定された。迎車台数はかなりの数をこなし、指定台数まで減車したが、まだ賃金目標に達していないため、さらに減車を進めていく。

(1) 地域間幹線系統確保維持計画および生活交通路線確保維持計画について

【木村会長】

- ・ それでは、議題（１）について、資料に基づき、事務局と函館バス(株)から説明をお願いしたい。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

（資料－１「地域間幹線系統確保維持計画および生活交通路線確保維持計画について」に基づき説明）

【金岩委員】

（資料－２「地域間幹線系統確保維持計画（案）」、「生活交通路線確保維持計画（案）」に基づき説明）

【木村会長】

- ・ ただいまの事務局と函館バス(株)からの説明に対し、質問や意見等はないか。

<質疑応答>

特になし

【木村会長】

- ・ それでは、本件につきましては、案のとおり了承し、５月２７日開催の渡島地域生活交通確保対策協議会で報告させていただく。

（２）平成 27 年度事業内容について

【木村会長】

- ・ 次に議題（２）について、資料に基づき、事務局から説明をお願いしたい。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

（資料－３「平成 27 年度事業内容について」に基づき説明）

【木村会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問等はないか。

<質疑応答>

特になし

【木村会長】

- ・ それでは、この内容で進めさせていただく。

(3) その他

【木村会長】

- ・ 次に、議題（3）その他について、何かあるか。

【近藤委員】

- ・ バスが利用されるように努力していることが見受けられるが、利用者の立場からすると、如何に安く乗ることができて、乗り換えがスムーズにできるかが重要である。沢山利用したいができない状況にあるので、効率的に利用できるようにしてほしい。
- ・ ノーマイカーデーの取組は良いことだと思うが、全体的な取組になっていない。効果はどうなっているのか。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

- ・ わかりやすさや乗り換えの問題は、我々が議論していることそのものなので、今後、具体的な内容について検討していきたい。
- ・ ノーマイカーデーの取組については、現段階においては効果が薄いかもしれないが、継続することにより効果が広がることが重要だと思うので、引き続き取り組んでいきたい。

【金岩委員】

- ・ ノーマイカーデー期間には、回数券配布以外に、希望者に対してはマイ時刻表を作成し、利用促進を図っている。
- ・ また、4月から9-J系統を運行開始し、亀田支所前でリングに乗り換えると蔦谷書店に行くことができる。試験的に陣川あさひ町会において、わかりやすい路線図と時刻表をセットにして配布したところ、好評だった。今後、他の町内会においても、出前教室として説明していきたい。

【木村会長】

- ・ 今年度、地域公共交通網形成計画と地域公共交通再編実施計画を策定していく中で、乗り継ぎ等について議論していく。また、これまで行った調査において、問題が洗い出されているので、どのように解決していくのかについて議論していきたい。
- ・ その他に何かあるか。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

- ・ 本協議会の他に、企業局交通部において、函館市路面電車整備推進協議会という協議会がある。地域公共交通活性化再生法改正に伴い、協議会制度の運用についての国の基本的な考え方として、バスや電車等の個別の輸送形態ごとではなく、それぞれが連携し、横断的な観点から協議するほうが良いと示されている。今後、公共交通のあり方を考えていく中で、バスと電車の乗り継ぎや乗り継ぎ拠点の整備についても考える必要があるので、国の基本的な考え方も踏まえ、本協議会と路面電車整備推進協議会を統合する形で調整したいと考えている。
- ・ 次回の協議会において、まとまった案を事務局から示したい。

【函館バス株式会社：内沢バス事業部長】

(資料「新幹線開業時における函館バスの運行について」に基づき説明)

【木村会長】

- ・ 二次交通については、本協議会の議論の対象ではないが、新幹線開業に伴う重要な事項だったので、報告いただいた。

【武下委員】

- ・ 本協議会と路面電車整備推進協議会の統合の件についてだが、委員については、1所属団体から1名ということにしていきたい。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

- ・ 各委員会に必要となる委員もいると思うので、その点も加味しながら、重複している点については集約し、効率化を図っていきたい。

【久保田委員】

- ・ 新函館北斗駅へのバスの乗り入れについてだが、今後も進展があれば、本協議会に対して報告があるということなのか。

【函館バス株式会社：内沢バス事業部長】

- ・ 今後も進捗について報告させていただく。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：鶴喰主事】

- ・ 次回の協議会は、8月下旬の開催を予定している。スケジュール等の詳細が決まり次第、改めてご案内する。

【木村会長】

- ・ 他になければ、これで予定した議事をすべて終了したので、進行を事務局にお渡しする。

3 閉 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：鶴喰主事】